

第2次斜里町商工業振興計画（案）の主な施策内容

参考資料 1

| 区分 | 施策項目 | 内 容 |
|---|---------------------------|--|
| 施策1 サ総合 ポ一的 ー的な ト経営 基盤 強化 の | 1-1 制度融資（融資制度） | 融資によるサポートとする。従来の中小企業融資を維持しつつ、小売店舗等近代化資金利子助成制度は中小企業融資制度と統合する方向で検討していくことを掲載。 |
| | 1-2 設備投資促進・支援 | 町独自の工場設置奨励金は過疎地指定を受け新規奨励金対象はないが、現行制度は当面維持しつつ、見直しにあたっては小規模事業者が事業用設備を取得等した場合の奨励金の検討を行い、国や道の補助金活用へのサポート、GXやDXの検討が行われるよう情報提供、個別相談を行うことを掲載。 |
| | 1-3 経営の総合的なサポート | ビジネスサポート事業との連携を引き続き進め、課題解決に向けたビジネスサポートフォローアップ事業による支援を継続して行い、顧客の多様性に対応するサービスの拡充や、創業・事業継承支援や新たな事業への展開、スタートアップ事業の促進など、新たな支援を検討することを掲載。 |
| 施策2 連携 による 地域 価値 の向 上と 地域 活 性 化 | 2-1 地域プラットフォーム事業の計画的な推進 | 地域プラットフォーム（PF）の運営体制強化に向けた各種取り組みを進める中で、経営基盤の強化を図り、地域の魅力向上、人材確保、地域活性化に繋がる事業の推進に協力を行い地域経済の成長や地域活力の強化に繋げることを掲載。 |
| | 2-2 エリア・ブランディングと産業連携 | エリア・ブランディングに商工業分野としても協力をを行い、ブランディングを中心に産業連携を推進することで互いの付加価値を高めていき、町外企業との連携を深めることで、新たなビジネスへの展開や外貨獲得をめざすことを掲載。 |
| | 2-3 食や特産品の高付加価値化とふるさと納税推進 | 農水産資源が豊富な特質を活かし、事業者による取り組みの支援や、地域的な取り組みを順次進めていく。（PFと連動。）また、ふるさと納税の拡充や商品開発支援等とおして、町の特産品PRや魅力的な事業への活用を通して地域産業の振興、地域経済の活性化に繋げていくことを掲載。 |
| | 2-4 「道の駅」を中心とする活性化 | すでに一定の集客がある「道の駅」（しゃり、うとろ）を中核施設として地域全体としても積極的に活用していくことを掲載。 |
| | 2-5 地域内循環・消費の拡大 | 町内での購買を促し、できる限り町外への流出を防ぐよう、ポテトカード事業や住宅リフォーム事業などを通じて域内循環を促していくことを掲載。 |

| 区分 | 施策項目 | 内容 |
|----------------------------|-------------------|--|
| 施策 3 郷土への誇りをもった人材の育成 | 3-1 人材確保 | 人手不足、雇用のミスマッチが深刻化しており、事業者と連携しながら、改善策に取り組み、多様な民間サービスの活用を検討や移住・定住希望者への支援も含めて取り組んでいくことを掲載。 |
| | 3-2 人材育成 | 事業所の持続的発展や競争力強化のためには、モチベーションを保ち、新しい知見を獲得していくことが欠かせないことから、可能な限り研修機会の確保に努めていくことを掲載。 |
| | 3-3 郷土愛の醸成 | 郷土への愛着や誇りが人材の質と量に影響することから、ブランディングはもとより、地域文化や伝統などを学ぶ地域学習の推進や姉妹町・友好都市交流を通じたより深い情報交換やビジネス交流を進めていくことを掲載。 |
| 施策 4 商工業を支える組織・施設の維持 | 4-1 商工会支援 | 商工会（青年部・女性部含む）による経営改善普及事業などの支援を行うことを掲載。 |
| | 4-2 地域振興事業・イベント支援 | 商工会を中心に組み込まれている事業・イベント等も引き続き支援することを掲載。 |
| | 4-3 施設管理 | 産業会館や道の駅などの商工業関連施設も引き続き適正に管理することを掲載。 |
| 施策 5 緊急時、災害、感染症等 | 5-1 災害、感染症等への対応 | 感染症の拡大や大規模自然災害等、町民生活や経済活動などへの影響が長期に及ぶ可能性がある場合、本計画に基づく各施策は、社会情勢を見極めながら取り組んでいくことを掲載。 |